

## 第 3 回労働力問題小委員会を開催 「女性の活用」

(一社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成 26 年 7 月 23 日(水)、第 3 回労働力問題小委員会を千代田区の都道府県会館会議室で開催した。今回の小委員会では、前回のテーマ「若者の採用」に引き続き、「女性の活用」について各企業が抱える課題と、現状の取組みについて様々な意見が交わされた。

まず各委員に共通した認識として、各社とも女性の活用は大きな課題と捉えており、今後はより多くの女性を受け入れるとともに、より長い期間安定して働いてもらいたい、という希望がある事が確認できた。その中で、事務系部門を中心に女性管理職の増員目標を設けている例や、育児休業後の復職セミナーを行って育児休業の取得・復職を円滑に進めようとしている例が報告された。その一方、物流の現場である現業部門においては、女性の活用や登用を試みる企業もあるものの、多くの企業ではまだ踏み込めていないのが現状であるとされた。

今後、問題意識と現状とのギャップを埋めていくために、女性のニーズを掴んで職場環境の整備と輸送ルート上におけるインフラ整備に注力する事とともに、まずは物流業界に限定せず、広く他の業界から先進的な事例を集めて、検討していくこととした。

次回開催は 8 月末を予定し、“高齢者の雇用”を課題として取り上げるほか、新たに得られる情報の提供や委員間相互の情報交換を進めていく。

以上

